

I. 勝利のキリストは、彼の地上の務めにおいて悪魔を打ち破り、悪魔のわざを破壊しました: マタイ 4:1 その後、イエスは悪魔に試みられるために、その霊によって荒野へと導かれた。2 そして彼は四十日四十夜、断食して、その後、空腹になられた。3 すると、あの試みる者がやって来て、彼に言った、「もし、あなたが神の子であるなら、これらの石がパンになるように命じなさい」。4 しかし、イエスは答えて言われた、「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる』と書かれている」。5 そこで、悪魔は彼を聖なる都へ連れて行き、宮の翼の上に立たせて 6 彼に言った、「もし、あなたが神の子であるなら、飛び降りてみなさい。『主があなたのために彼の御使いたちに命じられると、彼らはあなたを手で支えて、あなたの足を石に打ちつけないようにする』と書かれているからです」。7 イエスは彼に言われた、「『主なるあなたの神を試みてはならない』とも書かれています」。8 悪魔はまた、彼を非常に高い山へ連れて行き、彼にこの世のすべての王国とその栄華を見せた。9 そして彼に言った、「もし、あなたがひれ伏して私を拝むなら、これらすべてをあなたに差し上げます」。10 するとイエスは彼に言われた、「サタンよ、退け! 『主なるあなたの神を礼拝し、ただ彼のみ仕えよ』と書かれています」。11 そこで、悪魔はイエスを離れた。すると見よ、御使いたちが来て彼に仕えた。I ヨハネ 3:8 罪を実行する者は、悪魔から出ています。なぜなら、悪魔は初めから罪を犯しているからです。このために、神の御子が現れました。それは、彼が悪魔のわざを破壊するためです。

- A) 主イエスは天の王国のために彼の務めを完成するのに、神の敵、すなわち悪魔サタンを打ち破らなければなりませんでした:
 ①彼は人としてこの事を行なわなければなりませんでした。ですから、彼は人として立って、神の敵と対面しました。
 ②第一の人アダムに対する悪魔の誘惑は、成功しませんでした。しかし、第二の人キリストに対する悪魔の誘惑は、完全に失敗しました。
- B) 主イエスは彼の地上の務めにおいて、悪魔のわざを破壊しました: ① I ヨハネ第3章8節で、「破壊する」と訳されたギリシャ語は、「消し去る、解消する」とも訳すことができます。②このために、神の御子が現れました。それは、彼が悪魔の罪深い行為を消し去り、解消するため、すなわち、十字架上で彼の死を通して、肉において、邪悪な者によって始められた罪を罪定めするため、罪の力、すなわち悪魔の罪深い性質を滅ぼすため、罪ともろもろの罪を取り除くためです。ヘブル 2:14 こういっわけ、子供たちが血と肉にあずかっているのに、同様に彼自身も同じ肉にあずかられたのです。それは、彼が死を通して、死の権能を持つ者、すなわち悪魔を滅ぼすためであり。』

II. 勝利のキリストは彼が十字架につけられた時、この世の支配者を追い出し、悪魔を滅ぼし、支配たちと権威たちがはぎ取られるようにし、死を廃棄しました: ヨハネ 12:31 今は、この世が裁きを受ける時である。今、この世の支配者は追い出される。マタイ 27:51 すると見よ、宮の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けた。そして地が揺れ動き、岩が裂け。

- A) キリストは十字架の働きにおいて、この世の支配者を追い出し、この世を裁きました: ①キリストの死における働きによって、サタンが追い出された時、この世の支配者は追い出されました。②同時に、サタンと関係のあったこの世の体系は裁かれました。③サタンの反逆の根拠は揺り動かされ、サタンの地的王国の要塞は揺り動かされました。
- B) キリストは十字架につけられた時、悪魔を滅ぼしました: ①ヘブル第2章14節で、「滅ぼす」と訳されたギリシャ語はまた、「無にもたらず、無効にする、廃棄する、除去する、取り消す、捨てる」とも訳すことができます。②キリストは彼の人性の中で、十字架上で彼の働きを通して、悪魔を滅ぼしました。
- C) キリストは彼の十字架の働きにおいて、神によって天使の支配たちと権威たちがはぎ取られるようにし、彼らを公然とさらしものにして、十字架において彼らに凱旋の中で勝ち誇りました: コロサイ 2:15 神は支配たちや権威たちをはぎ取り、彼らを公然とさらしものにして、そこにおいて彼らに、凱旋の中で勝ち誇りました。①コロサイ第2章15節は、キリストが十字架につけられた時に進行していた戦いを描写しています。②神は十字架上で、邪悪な天使の支配たちと権威たちを公然と辱め、十字架において彼らに凱旋の中で勝ち誇りました。
- D) キリストは彼の悪魔を滅ぼす死を通して、死を廃棄し、それを失効させました。II テモテ 1:10 今や、私たちの救い主キリスト・イエスの出現を通して、明らかにされています。この方は死を廃棄し、福音を通して命と不朽を現し出されました。』

III. 勝利のキリストの復活は、彼が死に勝利していることを宣言しています:

- A) 主が死に捕らえられていることはあり得ませんでした: 使徒 2:24 この方を、神は死の苦痛から解き放って、復活させました。イエスが死に捕らえられていることは、あり得ないからです。①主イエスは神であり、また復活であり、破壊され得ない命を持っています。死は彼を捕らえることはできません。②主イエスは死を打ち破り、死の中から復活しました。
- B) 復活したキリストは、「生きている者」であり、「死とハデス[陰府]のかぎ」を持っています: 啓 1:18 また生きている者である。私は死んだが、見よ、永遠にわたって生きている。そして、死とハデス[陰府]のかぎを持っている。①主は生きている者として、死にましたが、今や「永遠にわたって生きて」います。②復活したキリストは、死とハデス[陰府]のかぎを持っています。死は彼の支配を受け、ハデス[陰府]は彼の制御の下にあります。』

IV. 勝利のキリストは彼の昇天において、「とりこにされていた者たちをとりことして引いて行き」ました: エペソ 4:8 そこで聖書はこう言っています、「彼は高い所へ昇られた時、とりこにされていた者たちをとりことして引いて行き、人々に賜物を与えられた」。

- A) 詳訳新約聖書(Amplified New Testament)は、「彼は…とりこにされていた者たちをとりことして引いて行き」を、「彼は…征服された敵の行列を引いて行き」と訳しています: ①「征服された敵」は、サタン、サタンの使い、私たち罪人を指しているのでしょうか。②これはキリストが、サタンと、罪と、死に勝利したことを示しています。キリストが昇天した時、これらの征服された敵の行列があって、それが戦場からとりことして引いて行かれ、キリストの勝利を祝賀しました。II コリント 2:14 しかし神に感謝します。この方はいつも私たちを、キリストにあつて凱旋行進の中で導き、彼を知る知識の香りを、至る所で私たちを通して現されます。
- B) 私たちは信者として、今や天にいます。なぜなら、キリストが天に昇った時、私たちは彼が「高い所」へ引いて行ったとりこの行列の中にいたからです: ①キリストは私たちをサタンの強奪する手から解放し、今私たちが座っている天に私たちをもたらしました。それはとりことしてではなく、神の子たちとして、またキリストの肢体としてです。②勝利のキリストは彼の昇天において、私たちを宇宙で最も高い所にもたらしました。』

V. 勝利のキリストは、戦う将軍として、彼の軍隊と共に来て、反キリストと、彼の下の諸王と、彼らの軍隊と、ハルマゲドンで戦います: 啓 19:11 また私は、天が開かれるのを見た。すると見よ、白い馬と、それに座している「忠信」と「真実」と呼ばれる方がおられた。彼は義の中で裁き、また戦う。13 彼は血に浸された衣をまとっている。また、彼の名は神の言と呼ばれる。14 そして天にある軍勢が白い馬に乗り、白くて清い細糸の亜麻布を着て彼に従った。15 彼の口からは鋭い剣が突き出ており、彼はそれをもって諸国民を打つのである。彼は鉄の杖をもって彼らを牧養する。彼は全能者である神の激怒の憤りの酒ぶねを踏む。19 私はまた、獣と地の王たちと彼らの軍勢とが結集して、馬に乗る方と彼の軍勢と戦うのを見た。20 そして獣は捕らえられた。また彼の前でしを行ない、それによって、獣の印を受けた者や彼の像を拝んだ者を欺いた偽預言者も、捕らえられた。この二人は生きたまま、硫黄で燃える火の池の中へと投げ込まれた。21 残りの者たちは、馬に乗る方の口から突き出た剣で殺された。

- A) キリストは、「『忠信』と『真実』と呼ばれ」、「義の中で裁き、また戦います」:
 ①キリストは神に対しても、彼を信じる者に対しても、忠信で真実な方です。②彼はその忠信さにおいて、神に反対し信者たちを迫害する者たちを打ち破り、滅ぼします。③彼はまた、神のエコノミーを完成することにおいて、また彼を信じる者を顧みることにおいて、真実な方です。④彼は義なる方であり、義の中で反キリストを打ち破り、反キリストに従う反逆者たちを裁きます。
- B) 戦う将軍、戦士は、言です。彼の戦いは神の言葉を語ることです。主は戦う時、神のために語り、神を表現します。』

経験①:この世の支配者、悪魔サタンが追い出されたことを、御言葉を祈り読みし、詩歌を歌うことで経験する

キリストは十字架上の働きにおいて、この世の支配者を追い出し、サタンの世を裁かれました。これは、その死におけるキリストの働きが、サタン、この世の支配者を追い出すことを含んでいることを示しています。サタンは、自分は賢明にも主イエスを十字架につけたと思いました。実は、このことを行なうことによって、サタンは自分自身が追い出されるようにしたのです。十字架は、神がサタンを追い出すのに用いられた方法でした。新約は、サタンがこの世と呼ばれる邪悪な、サタンの体系を形成したことを啓示しています。サタンのコスモスであるこの世を通して、サタンは墮落した人類を自分の占有する手の下に組織化しました。サタンはこの世を用いて、人々を神の定められた御旨から引き離し、彼らが神を享受することからそらしました。しかし、この邪悪な世の体系である暗やみの王国は、十字架上でキリストの働きを通して裁かれました。

おそらくあなたは、「悪魔が依然として優勢であるのに、どうして彼が滅ぼされることがあり得るのか？」と言うかもしれません。悪魔が優勢であると言うことは、うそです。聖書は決してこのように言っていません。このうそを信じてはなりません。聖書が言っているのは、悪魔は打ち砕かれ、滅ぼされたということです。彼の頭は踏み砕かれました。あなたが信じようとするのは自分の感覚でしょうか、それとも神の御言でしょうか？神の御言は、キリストは十字架上で彼の死を通して、悪魔を滅ぼされたと告げています。これは達成された事実、すなわち私たちに遺贈された契約としての聖なる御言に含まれている事実です。私たちは聖なる御言にしたがって、信仰によってこの遺贈を受ける必要があります。主は彼のあわれみによって、私たちの目を開き、彼の死のすべてを含むことを見せてくださいました。私たちは経験を通して、死、罪、悪魔、死の恐怖、奴隷が、すべて真にキリストの十字架において断ち切られたことを認識します。

中高生編

中高生の時から、キリストが十字架上で悪魔を追い出したことを経験してください。悪魔サタンは邪悪な体系であるこの世を通して人を誘惑し、人を神のエコノミーからそらさせます。サタンはあなたを誘惑するとき、「私は悪魔サタンである」と言ってあなたに来るのではありません。サタンはこの世を通してあなたを狡猾にだます方法でやって来るので、それがサタンであると最初は気づかないでしょう。したがってあなたはサタンの誘惑の原則を理解する必要があります。サタンの誘惑の原則の第一は、「神からの独立」です。サタンはあなたを誘惑して、「もう小学生ではないので、少くらい神から独立すべきではないでしょうか？」、「主の助けがなくても十分何でもできるでしょう」などとあなたにささやき、あなたも神から独立することが良いことのように語りかけます。あなたは主イエスの模範に従って、神の言葉を用いてサタンを退けてください。決してサタンと会話してサタンを追い出そうとしてははいけません。あなたは自分の力や能力でサタンを追い出すことは不可能です。詩歌516番1節は言います、「主に信頼するは何と甘いこと、約束の上になわれ安息する。イエス、イエス、信頼する、その都度確か。イエス、イエス、尊いイエス、主は生ける神」。また、ローマ10章を読んでください。

ローマ10:10 なぜなら、人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからです。11 聖書は、「すべて彼に信頼する者は、辱められることがない」と述べています。12 ユダヤ人とギリシャ人の区別はありません。同じ主が、すべての者の主であって、彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです。13 なぜなら、「主の御名を呼び求める者はすべて救われる」からです。あなたはこれらの御言葉を讀んだ後、サタンに次のように宣言すべきです、「サタンよ、私は主の御名を呼び、主に信頼する！お前は主に信頼せず高ぶって、悪魔サタン、神の敵となった。お前は私の反面教師である。お前の言うことには私は何でも反対し、神の言葉には何でもアーメンを言う！」サタンの誘惑の第二の原則は「高ぶり」です。サタンはあなたの小さな成功や能力を見るようにあなたを促し、あなたを高ぶらせませす。あなたは小さな高ぶりがサタンから来ていることを知って、サタンをあぶり出し、サタンを追い出すことを経験してください。

十字架のサタンを追い出す効力は、すべてを含む霊の中に包含されています。そしてその霊は神の御言葉や詩歌の中に具体化されているので、あなたが霊を活用し御言葉を祈り読みしたり、詩歌を歌って賛美するとき、あなたはその霊に触れます。その霊に触れるとき、あなたは信仰の中で悪魔を追い出すことを経験することができるのです。ハレルヤ！悪魔があなたを誘惑してくるたびに、悪魔がすでに追い出されたことを経験してください。

経験②:神はこの時代の終わりに起こるハルマゲドンの戦いで不義を一掃される。そして神の王国が来る。

勝利のキリストは、戦う将軍として、彼の軍隊と共に来て、反キリストと、彼の下の諸王と、彼らの軍隊と、ハルマゲドンで戦います。

啓示録第19章13節は、「彼の名は神の言と呼ばれる」と言います。神の言は、神の定義、説明、表現です。神の言として、キリストは、ヨハネによる福音書で神の選ばれた民に恵みとして命を分け与えることによるだけでなく、ヨハネの啓示録で反逆の民の上に神の裁きを執行することによっても神のために語られます。主は戦う時でさえ神のために語り、神を表現されます。キリストの戦うことは、神の言を語ることです。神は義であり、主権があります。彼はまた秩序の神であって、無秩序と反逆を容赦することができません。キリストが敵に対して戦う時、神は主権があり、義であり、秩序があることを語られます。彼は、神はすべての者の上の神であり、神の権威に対する反逆を容赦されないと宣言されるでしょう。このゆえに、戦士は言です。彼の戦いは神の言を語ることです。

仮に、私が集会所の中へと入り、すべてが散らかっているのを見るときは、私は一言も言わないで、集会所を掃除し始めます。掃除をする私の行為は、私がきれい好きな人で、散らかった状態に我慢できないことを語っています。私は何も言う必要がありません。なぜなら、私の掃除が私の代わりに語るからです。同じように、主のハルマゲドンでの戦いは、力強い語りかけとなるでしょう。それはサタン、反キリスト、偽預言者、全宇宙に、神には主権があり、だれも彼に対して反逆することはできないことを語ります。神は秩序の神であり、すべての反逆を一掃されます。神の言はヨハネによる福音書と、ヨハネの啓示録の両方で述べられています。ヨハネによる福音書では、神の言は戦うことに関して何も語っていません。むしろ、彼は贖い、光、命、建造を語ります。…ヨハネの啓示録で、神の言は命と建造だけでなく、戦うことも語ります。神は彼が願う建造を持つことができる前に、まず彼の宇宙を清掃しなければなりません。この書でのキリストの戦いはまた、彼が神のために語ることです。神の言として、彼の戦いは全宇宙に向かって、神がどのような神であるかを宣言されます。神は混乱の神ではありません。彼は主権ある神、反逆を容赦しない秩序の神です。キリストは彼の戦いによって、これを宇宙に宣言されます。

在職青年編

啓19:11 また私は、天が開かれるのを見た。すると見よ、白い馬と、それに座している「忠信」と「真実」と呼ばれる方がおられた。彼は義の中で裁き、また戦う。13 …また、彼の名は神の言と呼ばれる。15 彼の口からは鋭い剣が突き出ており、彼はそれをもって諸国民を打つのである。彼は鉄の杖をもって彼らを牧養する。彼は全能者である神の激怒の憤りの酒ぶねを踏む。19 私はまた、獣と地の王たちと彼らの軍勢とが結集して、馬に乗る方と彼の軍勢と戦うのを見た。20 そして獣は捕らえられた。また彼の前でしるしを行ない、それによって、獣の印を受けた者や彼の像を拝んだ者を欺いた偽預言者も、捕らえられた。この二人は生きたまま、硫黄で燃える火の池の中へと投げ込まれた。

ビジネス・ライフが主によって祝福されるために、あなたは不義を排除しなければなりません。なぜなら、神の豊かな祝福は神の義を根拠にしているからです。この世はサタンの王国であるので、不義に満ちています。あなたは、多少の不義はしょうがないと言って、不義を容認してはいけません。

兄弟の証し:私が副社長を務めている職場で、最近2人の女性社員(AさんとBさん)が結婚しました。Aさんは普通の社員です。Bさんは仕事が全くできない社員で、Bさんの上司や同僚は、「Bさんは全く仕事できません。彼女はこの会社ではなく別の道を歩んだ方がいいのではないのでしょうか」と言っています。私は、Aさんの結婚をオフィスの社員と共に祝うため、ケーキを買いました。その後で、Bさんも結婚したことを知りました。Bさんの上司は、「副社長の好意で行っていることなので、彼女にはケーキはいらぬ」と言いましたが、私は、「彼女の仕事ぶりがどうであれ、結婚を祝うことでは公平でないといけぬので、この人にもケーキを買います」と言いました。私は職場で小さなことでも公平であり、義であることを訓練しています。なぜなら、義がなければ神は私を祝福することができないからです。